

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 社会科(地理) 1年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：中学生の地理（帝国書院） 年間授業時数：55時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準
4	第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 1 私たちの住む地球を眺めて "2 世界のいろいろな国々の特徴 "3 緯度と経度 "4 地球儀と世界地図の違い "5 章の学習を振り返ろう	10	<p><第1部第1章のねらい></p> <p>世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解させる。</p> <p>②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>1 さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。</p> <p>2 国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。(ICTの活用)</p> <p>3 緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。</p> <p>4 地球儀と世界地図の構造を調べ、その違いや特色を理解するとともに、地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。</p> <p>5 世界の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p><第1部第1章の評価規準></p> <p>①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p> <p>②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
5	"第2章 日本の姿 "1 世界のなかでの日本の位置 "2 日本と世界各地との時差 "3 日本の領域とその特徴 "4 都道府県と都道府県庁所在地 "5 章の学習を振り返ろう	10	<p><第1部第2章のねらい></p> <p>日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解させる。</p> <p>②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>1 地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。</p> <p>2 時差のしくみを理解し、日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを考える。</p> <p>3 領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。</p> <p>4 都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。</p> <p>5 日本の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。(ICTの活用)</p>	<p><第1部第2章の評価規準></p> <p>①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。</p> <p>②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。<第2部第1章の評価規準></p> <p>①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。</p>
6	第2部 世界のさまざまな地域 "第1章 人々の生活と環境		<p><第2部第1章のねらい></p> <p>場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることが</p>	<p>1 世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。</p> <p>2 インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の</p>	<p>①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p>

7	<p>"1 世界のさまざまな生活と環境</p> <p>"2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～</p> <p>"3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～</p> <p>"4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～</p> <p>"5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～</p> <p>"6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～</p> <p>"7 人々の生活と宗教の関わり</p> <p>"8 章の学習を振り返ろう</p>		<p>できるようにさせる。</p> <p>①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解させる。</p> <p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>3 アラビア半島の人々の生活のようすから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>4 スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>5 シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>6 アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>7 世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。</p> <p>8 世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。</p> <p>9 人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。(ICTの活用)</p>	<p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
9 10	<p>第2章 世界の諸地域</p> <p>"第1節 アジア州</p> <p>"1 アジア州の自然環境</p> <p>"2 アジア州の農業・文化と経済発展</p> <p>"3 経済発展を急速に遂げた中国</p> <p>"4 最も近い隣国、韓国</p> <p>"5 経済発展を目指す東南アジア</p> <p>"6 産業発展と人口増加が急速に進む南アジア</p> <p>"7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</p> <p>"8 節の学習を振り返ろう</p>	8	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"</p>	<p>1 アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。</p> <p>3 中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。</p> <p>4 文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。</p> <p>5 外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。</p> <p>6 南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。</p> <p>7 西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。</p> <p>8 アジア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p> <p>②他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。</p> <p>③人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。</p>
	<p>"第2節 ヨーロッパ州</p> <p>"1 ヨーロッパ州の自然環</p>	7	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや地域などに関わる視点に</p>	<p>1 地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本</p>	<p>"<この節の評価基準></p> <p>①ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特</p>

	<p>境</p> <p>"2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</p> <p>"3 EUの成り立ちと人々の生活の変化</p> <p>"4 ヨーロッパ州の農業とEUの影響</p> <p>"5 ヨーロッパ州の工業とEUの影響</p> <p>"6 EU統合による課題への取り組み</p> <p>"7 節の学習を振り返ろう</p>		<p>着目して、ヨーロッパ州で見られるEU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響を、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。"</p>	<p>的な特色を理解する。</p> <p>2 位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。</p> <p>3 ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。</p> <p>4 ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。</p> <p>5 ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。</p> <p>6 EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。</p> <p>7 ヨーロッパ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p>色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。</p> <p>②他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。"</p>
11	<p>"第3節 アフリカ州</p> <p>"1 アフリカ州の自然環境</p> <p>"2 植民地支配の影響が残る産業</p> <p>"3 アフリカ州が抱える課題とその取り組み</p> <p>"4 節の学習を振り返ろう</p>	5	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやアフリカ州という地域に着目し、モノカルチャー経済からの脱却やアフリカ州の国々の発展や支援の在り方などを取り上げて、アフリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"</p>	<p>1 赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。</p> <p>3 アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。</p> <p>4 アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。</p> <p>5 アフリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p>"<この節の評価基準></p> <p>①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。</p> <p>②一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。</p> <p>③モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p> <p>"</p>
	<p>"第4節 北アメリカ州</p> <p>"1 北アメリカ州の自然環境</p> <p>"2 移民の歴史と多様な民族・文化</p> <p>"3 大規模な農業と多様な農産物</p> <p>"4 世界をリードする先端技術</p> <p>"5 アメリカ合衆国にみる</p>	6	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや北アメリカ州という地域に着目し、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達したことなどを取り上げて、北アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"</p>	<p>1 地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。</p> <p>3 北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。</p> <p>4 アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。</p> <p>5 アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。</p>	<p>"<この節の評価基準></p> <p>①多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。</p> <p>②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。</p> <p>"</p>

	生産と消費の問題 "6 節の学習を振り返ろう			6 北アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	
12	"第5節 南アメリカ州 "1 南アメリカ州の自然環境 "2 多様な民族や文化が混ざり合う社会 "3 大規模化する農業と成長する工業 "4 ブラジルにみる開発と環境保全 "5 節の学習を振り返ろう	5	"<この節のねらい> 他地域との結びつきや南アメリカ州という地域に着目し、農地や鉱山の開発が地域に影響したことなどを取り上げて、南アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"	1 地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 2 南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。 3 南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。 4 アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考える。 5 南アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	"<この節の評価基準> ①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ③多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。"
	"第6節 オセアニア州 "1 オセアニア州の自然環境 "2 移民の歴史と多文化社会への歩み "3 他地域と結びついて発展する産業 "4 節の学習を振り返ろう	4	"<この節のねらい> 他地域との結びつきやオセアニア州という地域に着目し、白豪主義から多文化社会への転換などを取り上げて、オセアニア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"	1 地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 2 オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。 3 オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。 4 オセアニア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	"<この節の評価基準> ①自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。 ②オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ③広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。"

※大半の授業で映像や資料の提示のために ICT を活用している。

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 社会科（歴史） 1年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：中学生の歴史（帝国書院） 年間授業時数：50時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価基準
6	<p>"第1章 歴史のとらえ方と調べ方</p> <p>第1節 歴史の流れと時代区分</p> <p>"1 歴史をたどろう</p> <p>"2 年代の表し方と時代区分</p> <p>第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた</p> <p>"1 歴史の謎を探る～問いを作ろう～</p> <p>"2 資料をよく見てヒントを探そう</p> <p>3 謎解きの答えを分かりやすくまとめよう</p>	<p>2</p> <p>3</p>	<p>"<第1部第1節のねらい></p> <p>①中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</p> <p>②小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現させる。"</p> <p><第1部第2節のねらい></p> <p>①身近な地域のなかで受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとのかかわりのなかで地域の歴史を調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</p> <p>②博物館や郷土資料館などの利用や地域の人々の協力も考慮し、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる</p>	<p>1 絵を活用して、小学校で学んだ内容を取り上げ、歴史を大きく変えた人物や出来事を考察し、時代を区分することの意味や意義を理解する。</p> <p>2 "西暦、世紀、元号の意味と使い方を理解する。</p> <p>政治の中心地による時代区分や文化の特徴から名付けられた時代区分があることを理解する。</p> <p>"</p> <p>1 地域の歴史にふれ、調べてみたいことがらを探し、班で話し合うなどしてから調べる課題を決定する。</p> <p>2 教科書や地域の副読本など、身近な資料から基本的な情報を集め、調べる視点を明確にして、いくつかの予想（仮説）を立てる。ルートマップなどの地図を用意し、マナーを守りながら野外調査や聞き取り調査を行って、情報を収集し、整理する。(ICTの活用)</p> <p>3 "調べたり考えたりしたことを整理し、まとめの報告書(レポート)を作成する。</p> <p>調べたことを発表し、意見交換を行ったのち、調査全体をふりかえり、改善できる点や工夫できる点を探して、今後の調査活動に生かせるようにする。"</p>	<p><第1部第1節の評価基準></p> <p>①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。</p> <p>①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。</p> <p>③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p><第1部第2節の評価基準></p> <p>①自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとの関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>②比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心を持ち、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>"第2章 古代国家の成立と東アジア</p> <p>"第1節 人類の登場から文明の発生へ</p> <p>"1 人類がたどった進化</p> <p>"2 世界各地で生まれる文</p>	6	<p>"<第2部第1章のねらい></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国</p>	<p>1 "環境の変化とともに、人類はどのように進化してきたのかを、文章や資料から読み取り、表または図にまとめる。</p> <p>"</p> <p>2 文明はどのような地域で誕生し、またその地域ではどのようなものが生まれたのかを、文章や地図資料から読み取り、表にまとめる。</p> <p>3 中国に登場した秦や漢ではどのような政治が行われたのか、</p>	<p><第2部第1章の評価基準></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</p>

	<p>明</p> <p>" 3 東アジアの文明の広がり</p> <p>" 4 ギリシャとローマの政治と文明</p> <p>" 5 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生</p> <p>6 節の問いを振り返ろう</p>	<p>家が形成されていったことを理解させる。</p> <p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究させる。"</p> <p>"<「世界の古代文明や宗教のおこり」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。</p> <p>○ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。"</p>	<p>文章や資料から読み取る。</p> <p>4 ギリシャとローマではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取り、現代の民主政治と異なる点を考える。</p> <p>5 "世界的な規模で信仰されている宗教は、どのように生まれ、広まっていったのか、文章や地図から読み取る。</p> <p>6 各文明が成立したときに出来たものを確認させる。</p> <p>"</p>	<p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p><「世界の古代文明や宗教のおこり」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、文明や宗教の特徴を比較して考察し、共通点に気づくなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
7	<p>第2節 東アジアのなかの倭（日本）</p> <p>"タイムトラベル①</p> <p>縄文時代を眺めてみよう</p> <p>紀元前25～前20世紀ごろのある場面</p>	<p>4</p> <p>"<「日本列島における国家形成」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせ</p>	<p>・縄文時代と弥生時代の集落をえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるかを読み取り、各時代の特色を考え、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。</p> <p>1 縄文時代から弥生時代にかけて、人々の生活はどのように変化したのか、稲作とかかわらせて考える。</p>	<p><「日本列島における国家形成」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>

	<p>タイムトラベル②</p> <p>弥生時代を眺めてみよう</p> <p>紀元2～3世紀ごろのある場面"</p> <p>"1 縄文から弥生への変化</p> <p>"2 ムラがまとまりクニへ</p> <p>"3 鉄から見えるヤマト王権</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>		<p>る。</p> <p>○古墳の大きさやその分布をもとに、ヤマト王権の勢力の広がりを大きくとらえさせ、東アジアとのかかわりについては、大陸から移住してきた人々のわが国の社会や文化に果たした役割に気づかせる。"</p>	<p>2 日本列島の各地にあった国々はどのようにしてまとまっていたのか、中国の歴史書が伝えていることなどをもとに考える。</p> <p>3 "ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのか、鉄や前方後円墳が各地に広まった理由をもとに考える。</p> <p>◇ムラからクニ、さらにヤマト王権へとまとまる過程を確認させる。"</p>	<p>②農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
9	<p>"第3節 中国にならった国家づくり</p> <p>"タイムトラベル③</p> <p>奈良時代を眺めてみよう</p> <p>8世紀ごろのある場面"</p> <p>"1 ヤマト王権と仏教伝来</p> <p>"2 揺れ動くアジアと倭国</p> <p>"3 律令国家での暮らし</p> <p>"4 大陸の影響を受けた天平文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	6	<p>"<「律令国家の形成」「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。</p> <p>○大陸からもたらされた仏教が、わが国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。"</p>	<p>・縄文時代や弥生時代の集落などと奈良時代の国分寺建設のようすをえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。（ICTの活用）</p> <p>1 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのか、蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策などをもとに考える。</p> <p>2 東アジア諸国との関係のなかで、倭（日本）はどのような改革を進めたのか、天智天皇と天武天皇が行った政策などを文章や資料から読み取ってまとめる。</p> <p>3 奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのか、資料などをもとに考える。</p> <p>4 "奈良時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、大陸の影響と文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇飛鳥時代、奈良時代に行われた政策を確認させる。"</p>	<p><「律令国家の形成」「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>"第4節 展開する天皇・貴族の政治</p> <p>"タイムトラベル④</p> <p>平安時代を眺めてみよう</p> <p>11～12世紀ごろのある場面</p> <p>"1 権力を握った貴族たち</p> <p>"2 唐風から日本風へ変わる文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>"章の学習を振り返ろう</p>	4	<p>"<「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。</p> <p>○東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気づかせる。</p> <p>○日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気づかせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。"</p>	<p>・平安時代（平安京）における人々や貴族の生活の様子をえがいた想像図を見て、奈良時代（平城京）と比べてどのような点に変化し、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。</p> <p>1 平安京に都を移したのち、朝廷の政治にどのような変化が見られるようになり、なぜ藤原氏が政治の実権を握ることができたのか、文章や系図などをもとに考える。</p> <p>2 "平安時代にはどのような特色をもった新しい文学や仏教が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇奈良時代の天平文化との違いに注目させる。"</p> <p>"古代の日本で国が成立するための共通点や必要なことを考え、最も重要なものを選び、その理由とともに発表し合う。"</p>	<p>"<「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>

				古代とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。"	
1	"第3章 武家政権の成長と東アジア "第1節 武士の世の始まり "タイムトラベル⑤ 鎌倉時代を眺めてみよう 13～14世紀ごろのある場面" "1 各地で生まれる武士団 "2 朝廷と結び付く武士 "3 鎌倉を中心とした武家政権 "4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 ◇節の問いを振り返ろう◇	6	"<「武家政治の成立とユーラシアの交流」を扱うこの単元のねらい> ○武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。 ○武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気づかせる。"	・鎌倉時代の農村のようすをえがいた想像図を見て、平安時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。（ICTの活用） 1 武士はどのようにして現れ、都や地方でどのような役割を果たし、どのように成長していったのかを、文章や資料などから読み取る。 2 平氏はどのような出来事をきっかけにして実権をにぎり、どのような政治を行い、なぜ滅ぼされたのか、予想を立てたり、文章や資料などから読み取ったりする。 3 鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴をもっていたのか、御家人の視点から考えたり、まとめたりする。 4 鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、武家の政治や新しい仏教の動きに着目させ、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇武士が土地を守るためにどのような関係を築いたかを確認させる。"	<第2部第2章の評価規準> ①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 ②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	"第2節 武家政権の内と外 "1 モンゴル帝国と「蒙古襲来」 "2 南北朝の内乱と新たな幕府 "3 東アジアの交易と倭寇 "4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易 ◇節の問いを振り返ろう◇	5	"<「武家政治の展開と東アジアの動き」を扱うこの単元のねらい> ○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかわりが見られたことを理解させる。 ○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもったこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。"	1 蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。（ICTの活用） 2 鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料などから読み取ったり考えたりする。 3 室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。 4 琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。 ◇日本は、特に中国とどのような関係を築いたかに注目させる。	"<「武家政治の展開と東アジアの動き」を扱うこの単元の評価規準> ①元寇が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかわりが見られたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"
	"第3節 人々の結び付きが強まる社会 "タイムトラベル⑥	6	"<「民衆の成長と新たな文化の形成」を扱うこの単元のねらい> ○農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都	・室町時代の港町のようすをえがいた想像図を見て、鎌倉時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を	"<「民衆の成長と新たな文化の形成」を扱うこの単元の評価規準> ①農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成

	<p>室町時代を眺めてみよう</p> <p>1 5世紀ごろのある場面"</p> <p>"1 技術の発達とさまざまな職業</p> <p>"2 団結して自立する民衆</p> <p>"3 全国に広がる下剋上</p> <p>"4 庶民に広がる室町文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>"章の学習を振り返ろう</p> <p>武家政権の成長と東アジア</p>		<p>市や農村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることや、それにともなって商品流通が活発化したことに気づかせる。</p> <p>○武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。</p> <p>○各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。 "</p>	<p>貫く問い)を設定する。</p> <p>1 鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商業、運送業などの発達に着目させ、絵画資料などから読み取ってまとめる。</p> <p>2 争いや戦乱が続くなかで、人々はどのような行動を起こしたのか、「自分たちの力」「利害」「結びつき」をキーワードにして、資料などからその具体例を見つけ出してまとめる。</p> <p>3 応仁の乱をきっかけに、各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか、地図などをもとに調べたりまとめたりする。</p> <p>4 "室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇タテとヨコのつながりに注目させる。"</p> <p>"中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のまともに分けて、それぞれのタテとヨコの関係図をつくり、どのような結びつきがなぜ強められたかを考え、話し合う。</p> <p>中世とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。"</p>	<p>長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>
<p>3</p>	<p>"第4章 武家政権の展開と世界の動き</p> <p>"第1節 大航海によって結びつく世界</p> <p>"1 ヨーロッパの変革</p> <p>"2 大航海時代の幕開け</p> <p>"3 東アジアの貿易と南蛮人</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	<p>4</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにともなって、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>○新航路の開拓の背景となるアジアの取引の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。"</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>1 ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>2 交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の取引の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>3 世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の取引の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>
	<p>"第2節 戦乱から全国統一へ</p> <p>"タイムトラベル⑦</p> <p>安土桃山時代を眺めてみよう</p>	<p>4</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や關所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、</p>	<p>・安土桃山時代の町づくりが行われているようすをえがいた想像図を見て、鎌倉・室町時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。</p>	<p><「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>

	<p>16世紀ごろのある場面"</p> <p>"1 信長・秀吉による全国統一</p> <p>"2 秀吉が導いた近世社会</p> <p>"3 戦国大名と豪商が担った桃山文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	<p>中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気づかせる。</p> <p>○当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易，キリスト教への対応，朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。</p> <p>○南蛮文化が取り入れられる一方，生活に根ざした文化が広がり，武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気づかせる。"</p>	<p>1 織田信長は，どのようにして全国を統一していったのか，絵画資料や地図，法令などの資料をもとに読み取る。</p> <p>2 豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は，どのような影響を残したのか，絵画資料や地図，法令などの資料をもとに考える。</p> <p>3 "織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には，どのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。(ICTの活用)</p> <p>・◇人々の生活や経済の変化に注目させる。"</p>	<p>②統一政権の諸政策の目的に着目して，中世社会から近世社会への変化が生み出され，日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③統一事業について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
--	---	---	---	---

※大半の授業で映像や資料の提示のために ICT を活用している。

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 社会科地理 2年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：社会科 中学生の地理（帝国書院） 年間授業時数：45時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4	第3部 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査のしかた	2	<p>○観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解させる。</p> <p>○地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付させる。</p> <p>○地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目させ，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察，表現させる。</p> <p>○地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>○身近な地域の情報を集めて，それを基に適切な調査テーマを設定する。</p> <p>○身近な地域の調査テーマに基づいて，見通しをもって調査方法・調査計画を立て，主体的に追究する。</p> <p>○地形図について，縮尺，方位，等高線，地図記号などに着目して，地域の土地利用や地形を大観する。</p> <p>○新旧の地形図を比較して地域の変化を読み取る。</p> <p>○野外観察や聞き取り調査を通して，地域調査の手法を理解するとともに，地域の特色を捉える。</p> <p>○調査テーマに対して文献，統計，地図，写真などの資料を収集する方法を理解するとともに，地域の特色を捉える。</p> <p>○収集した資料を，調査目的や用途に適した地図や図表として適切にまとめる。（ICT）</p> <p>○まとめられた資料を基に，身近な地域の調査テーマに対して多面的・多角的に考察する。</p> <p>○調査の動機と目的，調査方法と調査結果など，これまで学習してきた成果を分かりやすく発表する。（ICT）</p> <p>○他のグループの発表を通して新たな情報を収集し，調査テーマを主体的に追究する。</p>	<p>1</p> <p>○観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解している。</p> <p>○地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。</p> <p>2</p> <p>○地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>3</p> <p>○地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
5	第2章 日本の地域的特色	12	<p>○日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の①自然環境に関する特色を理解させる。</p> <p>○少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の②人口に関する特色を理解させる。</p> <p>○日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。</p> <p>○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。</p> <p>○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観させ，理解させる。</p> <p>○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けさせる。</p> <p>○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目させて，多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>○日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ，それらに関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。</p>	<p>○日本のさまざまな地域的特色を，地域と分布に着目しながら，大きく捉える。</p> <p>○日本は変動帯に属して，地震や火山の多い不安定な大地上に位置していること，フォッサマグナを境にして，山脈の走る方向が違うことなどを資料から読み取る。</p> <p>○日本の川は，大陸と比べて急で短く，洪水を引き起こしやすいため，上流ではダムが建設されている地域が多いことを理解する。</p> <p>○日本には，河川などに運ばれた土砂で形成された規模の小さな平野が臨海部に，また山に囲まれた地域には盆地などが各地に分布していることを分布図などから読み取る。</p> <p>○日本の国土は海に囲まれ，多くの島々から構成されるとともに多様な海岸が見られること，近海には海底に大陸棚が広がり，寒暖の海流が出合い世界的な漁場となっていることを理解する。</p> <p>○日本の地域的特色を，山地・山脈，河川，平地，海，災害などの分布に着目して，これらに関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>○日本の多くの地域は温帯に属し，降水量も多く，森林，樹木が成長しやすい環境にあることを雨温図や景観写真などから読み取る。</p> <p>○日本列島にはなぜ六つの気候が存在するのかを，日本の山地，山脈の分布等に着目して考察できるようにする。（ICT）</p> <p>○日本は大規模な地震や津波，台風など多様な自然災害が発生しやすい地域が多く，早くから，防災設備の充実，ハザードマップの作製など防災，減災対策に努めてきたことに気付く。</p> <p>○国や地方公共団体の諸機関や担当部局，地域の人々やボランティアが連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを読み取り，日本の防災対策を理解する。</p> <p>○人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化，人口分布に着目して，少子高齢化，過疎，過密といった日本の課題を読み取る。</p> <p>○日本のエネルギー自給率や発電量の内訳を示す資料などから，日本の抱えている課題とその対策について多面的・多角的に理解する。</p> <p>○環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解する。</p> <p>○日本の農業，工業が抱える課題について食料自給率や主な工業地帯，地域の分布図から読み取る。</p> <p>○日本の第三次産業の盛んな地域について，その背景を考察する。</p> <p>○輸送手段の違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して考察する。</p> <p>○新幹線，高速道路，航路，航空路網，情報通信網などの整備が進んでおり，日本は海外と空や海の交通網，そして通信網が集中する拠点の一つに数えられていることを理解する。</p> <p>○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分の事例を学び，地域区分をする技能を身に付ける。</p>	<p>1</p> <p>○日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の①自然環境に関する特色を理解している。</p> <p>○少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の②人口に関する特色を理解している。</p> <p>○日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</p> <p>○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</p> <p>○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観し理解している。</p> <p>○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。</p> <p>2</p> <p>○①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>○日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目して，それらに関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>3</p> <p>○日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

			○日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現する。 ○「まとめの活動」を通してこれまでの学習を振り返り, ①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ, 日本の国土の特色を大観し, 理解する。		
9	第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方	6	○九州地方について, その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○①自然環境を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解させる。 ○九州地方において, ①自然環境の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。 ○九州地方について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○九州地方について, 地形図や雨温図, 分布図などの資料から概観し, 基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○九州地方に多い火山の噴火による被害とその対策に着目し, 人々が火山とともに生活していることを理解する。 ○九州地方に多い豪雨による土砂崩れと水害について, 自然環境の特色と関連付けて考察する。 ○九州地方に多い火山に着目し, 災害を与える一方で恵みももたらしていることを理解する。 ○九州地方の産業が各地の自然条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○九州地方の工業の発展で起きた環境問題とその対策の過程について, 具体的な資料を通して理解する。 ○九州地方の各地で行われている持続可能な社会を実現するための取り組みについて, 環境と開発の両立の視点から考察する。 ○自然環境を中核とした考察の仕方でも取り上げた九州地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り, これらを理解する。 ○九州地方の自然環境とそこで暮らす人々の生活の成立条件を地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 九州地方では, 自然環境の影響を受けつつ, 産業や生活・文化が発達してきた理由を多面的・多角的に考察する。(ICT) ○よりよい社会の実現を視野に, 九州地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	1 ○九州地方について, その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○①自然環境を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解している。 2 ○九州地方において, ①自然環境の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 3 ○九州地方について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	第2節 中国・四国地方	6	○中国・四国地方について, その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解させる。 ○中国・四国地方において, ④交通・通信の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。 ○中国・四国地方について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○中国・四国地方について, 人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し, 基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○中国・四国地方の交通網の整備について, 地図, 写真, 統計などの具体的な資料を通して, 理解する。 ○中国・四国地方の人口が瀬戸内の県に集中していることに着目し, その歴史的・地理的背景について理解する。 ○中国・四国地方の産業が交通網の発達とともに成長してきたことを理解する。 ○中国・四国地方の市町村別人口増減率の地図に着目し, 過疎地域の分布の特色を理解する。 ○過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について, 特色ある観光資源や交通・通信網の活用などの視点から考察する。 ○交通・通信を中核とした考察の仕方でも取り上げた中国・四国地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り, これらを理解する。 ○中国・四国地方の交通・通信の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 中国・四国地方で交通・通信網が重要な役割を果たしている理由を多面的・多角的に考察する。(ICT) ○よりよい社会の実現を視野に, 中国・四国地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	1 ○中国・四国地方について, その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解している。 2 ○中国・四国地方において, ④交通・通信の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 3 ○中国・四国地方について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	第3節 近畿地方	6	○近畿地方について, その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解させる。 ○近畿地方において, ②人口や都市・村落の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。	○近畿地方について, 地形図や人口分布図などの資料から概観し, 基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○近畿地方の大都市圏の成り立ちについて, 地図や写真などの資料を通して, 理解する。 ○大阪湾臨海部の工業の特色を捉え, 大都市における工業の課題について考察する。 ○近畿地方の都市の発展や, 開発とその課題について, 地図や写真などを使って理解する。 ○近畿地方の古都などに見られる伝統的な文化, 歴史的な景観の保存と開発について, 調和という視点から考察する。 ○近畿地方の市町村別人口増減率の地図に着目し, 過疎地域の分布の特色を理解する。 ○過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について, 特色ある産業や景観, 都市部との交流などの視点から考察する。 ○人口や都市・村落を中核とした考察の仕方でも取り上げた近畿地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り, これらを理解する。	1 ○近畿地方について, その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解している。 2 ○近畿地方において, ②人口や都市・村落の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。	

			○近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○近畿地方の人口や都市・村落とその成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、近畿地方で都市や農村の姿が変化してきた理由を多面的・多角的に考察する。(ICT) ○よりよい社会の実現を視野に、近畿地方の学習内容を振り返って、探究課題を主体的に追究する。	3 ○近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
1	第4節 中部地方	6	○中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○③産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ○中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ○中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○中部地方について、地形図や統計グラフなどの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○東海で発展した世界をリードする各種の工業について、その変容と国際化にともなう課題の視点から考察する。 ○東海で盛んな農業に関する具体的な資料を通して、各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○中央高地で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して、各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○中央高地にある歴史的な家屋や街並みに着目し、観光業を中心とした地域づくりをしていることを理解する。 ○北陸で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して、各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ○北陸の伝統産業や地場産業について、自然条件や歴史的背景などの視点から考察する。 ○産業を中核とした考察の仕方を取り上げた中部地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。 ○中部地方の産業とその成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、中部地方で個性的な産業が発達している理由を多面的・多角的に考察する。(ICT) ○よりよい社会の実現を視野に、中部地方の学習内容を振り返って、探究課題を主体的に追究する。	1 ○中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○③産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 2 ○中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 3 ○中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第5節 関東地方	6	○関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ○関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ○関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○関東地方について、人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○東京にさまざまな機能が集中し、日本や世界各地との結び付きが強いことを理解する。 ○東京大都市圏における都心部と郊外の人口動態に着目し、その結び付きと課題について考察する。 ○東京大都市圏の交通網と観光産業の関連について理解する。 ○関東地方の工業の特色を、臨海部と内陸部の結び付きに着目しながら理解する。 ○関東地方で農業が盛んな理由を、大消費地との結び付きと関連付けて考察する。 ○交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた関東地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。 ○関東地方の交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由について多面的・多角的に考察する。(ICT) ○よりよい社会の実現を視野に、関東地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。	1 ○関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 2 ○関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 3 ○関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第6節 東北地方	6	○東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ○⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ○東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ○東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○東北地方について、地形図や、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ○東北地方の生活・文化について、伝統的な民俗行事の資料を通して理解する。 ○東北地方の伝統行事や習慣を通して、自然環境や歴史的背景、産業などの地域的特色を理解する。 ○東北地方の伝統産業や地場産業の特色について、自然環境との結び付きから理解する。 ○伝統的な産業が、世界市場や社会の変化と結び付きながら変化し、発展していることを考察する。 ○東北地方でくり返されてきた地震や津波の被害に着目し、被災した人々が残した教訓について理解している。 ○東北地方の生活・文化と不可分な災害の歴史と教訓を通して、先人の思いや今後の社会の在り方について考察する。 ○生活・文化を中核とした考察の仕方を取り上げた東北地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。 ○東北地方の生活・文化の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、東北地方で伝統的な生活・文化が守られ、継承されてきた理由を多面的・多角的に考察する。(ICT)	1 ○東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 2 ○東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 3 ○東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

				○よりよい社会の実現を視野に、東北地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。		
第7節 北海道地方	6	<p>○北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</p> <p>○①自然環境を中核とした考察の仕方です。取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</p> <p>○北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</p> <p>○北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>○北海道地方について、地形図、雨温図などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。</p> <p>○北海道の厳しい自然環境とそれに対する生活の工夫について、景観写真や模式図などの読み取りを通して理解する。</p> <p>○北海道の人々が自然環境をどのように活用しているのか、気候、火山や漁業などの視点から考察する。</p> <p>○今後の北海道地方の農業の在り方について、国際競争と地産地消の視点から考察する。</p> <p>○北海道地方の観光業に着目し、冷涼な気候は各地から観光客をひきつけていることを理解する。</p> <p>○北海道地方の観光客の増加について、地域の発展と環境保全の視点から考察する。</p> <p>○自然環境を中核とした考察の仕方です。取り上げた北海道地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。</p> <p>○北海道地方の自然環境とそこで暮らす人々の生活の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、北海道地方でたくさんの農作物を出荷したり、観光客をひき付けたりしている理由を多面的・多角的に考察する。(ICT)</p> <p>○よりよい社会の実現を視野に、北海道地方の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。</p>	<p>1</p> <p>○北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>○①自然環境を中核とした考察の仕方です。取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>2</p> <p>○北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>3</p> <p>○北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
第4部 地域のあり方	3	<p>○地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。</p> <p>○地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解させる。</p> <p>○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想、表現させる。</p> <p>○地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>○身近な地域の課題を見つけ、「世界や日本のさまざまな地域」に見られた課題と比較し、見通しをもって主体的に追究する。</p> <p>○身近な地域の課題が、どこでどのように起こっているかを、位置や分布に注目して捉える。</p> <p>○身近な地域の課題が、どのような経緯で起こってきたかを、地域の移り変わりに注目して多面的・多角的に考察する。</p> <p>○地域の課題の要因やその影響について、地域内外の結び付きや地域の変容に着目し、考察する。</p> <p>○身近な地域の課題の解決策を、類似の課題が見られる他地域との比較、関連付けを通して理解する。</p> <p>○地域に見られる課題の解決に向けて考察、構想したことを整理し、地図や図表、プレゼンテーションソフトや企画書などにまとめて発表する。(ICT)</p> <p>○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、具体的な解決策として表現する</p> <p>○地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>1</p> <p>○地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。</p> <p>○地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。</p> <p>2</p> <p>○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>3</p> <p>○地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>		

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 社会科歴史 2年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：社会科 中学生の歴史（帝国書院） 年間授業時数：60時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4	第2節 武家政権の内と外 1 モンゴル帝国と「蒙古襲来」 2 南北朝の内乱と新たな幕府 3 東アジアの交易と倭寇 4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易 ◇節の問いを振り返ろう◇	5	○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。 ○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもっていったこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。	1 蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。（ICTの活用） 2 鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料などから読み取ったり考えたりする。 3 室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。 4 琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。 ◇日本は、特に中国とどのような関係を築いたかに注目させる。	①元寇が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	第3節 人々の結び付きが強まる社会 タイムトラベル⑥ 室町時代を眺めてみよう 1 5世紀ごろのある場面 1 技術の発達とさまざまな職業 2 団結して自立する民衆 3 全国に広がる下剋上 4 庶民に広がる室町文化 ◇節の問いを振り返ろう◇ 章の学習を振り返ろう 武家政権の成長と東アジア	6	○農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることや、それにとまって商品流通が活発化したことに気づかせる。 ○武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。 ○各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。	・室町時代の港町のようなすえがいた想像図を見て、鎌倉時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。 1 鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商業、運送業などの発達に着目させ、絵画資料などから読み取ってまとめる。 2 争いや戦乱が続くなかで、人々はどうのような行動を起こしたのか、「自分たちの力」「利害」「結びつき」をキーワードにして、資料などからその具体例を見つけ出してまとめる。 3 応仁の乱をきっかけに、各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか、地図などをもとに調べたりまとめたりする。 4 室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇タテとヨコのつながりに注目させる。 中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のままとまりに分けて、それぞれのタテとヨコの関係図をつくり、どのような結びつきがなぜ強められたかを考え、話し合う。 中世とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。	①農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第4章 武家政権の展開と世界の動き 第1節 大航海によって結びつく世界 1 ヨーロッパの変革 2 大航海時代の幕開け 3 東アジアの貿易と南蛮人 ◇節の問いを振り返ろう◇	4	○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにとまって、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。 ○新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。	<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準> 1 ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 2 交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 3 世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2節 戦乱から全国統一へ タイムトラベル⑦ 安土桃山時代を眺めてみよう 1 6世紀ごろのある場面	4	○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれつつあったことなどの大きな変化に気づかせる。 ○当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対	・安土桃山時代の町づくりが行われているようすをえがいた想像図を見て、鎌倉・室町時代と比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。 1 織田信長は、どのようにして全国を統一していったのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに読み取る。 2 豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は、どのような影響を残したのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに考える。	①織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

	<p>1 信長・秀吉による全国統一</p> <p>2 秀吉が導いた近世社会</p> <p>3 戦国大名と豪商が担った桃山文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>		<p>応、朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。</p> <p>○南蛮文化が取り入れられる一方、生活に根ざした文化が広がり、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気づかせる。</p>	<p>3 織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。(ICTの活用)</p>	<p>③統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
9	<p>第3節 武士による全国支配の完成</p> <p>1 幕藩体制の始まり</p> <p>2 朱印船貿易から貿易統制へ</p> <p>3 四つに絞られた貿易の窓口</p> <p>4 琉球王国とアイヌの人々への支配</p> <p>5 節の問いを振り返ろう</p>	5	<p>○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現させる。</p> <p>○江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気づかせる。</p>	<p>○江戸幕府は大名や朝廷を統制するために、どのようなしくみをつくったのか、文章や資料から読み取る。</p> <p>○江戸幕府の外交・貿易政策は、国内政策との関係で、どのように変化したのか、年表などから読み取ったり考えたりする。</p> <p>○幕府は、窓口を通して世界とどのようにつながっていたのか、地図でそれぞれの窓口を確認しながらまとめる。</p> <p>○琉球王国とアイヌの人々は、薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったのか、絵画資料などから読み取り、江戸時代になってどのように変化したのかを説明する。</p> <p>○江戸幕府が行った国内と国外の政策をそれぞれ確認させる。</p>	<p>①江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
11	<p>第4章 武家政権の展開と世界の動き</p> <p>第4節 天下泰平の世の中</p> <p>1 タイムトラベル⑧</p> <p>江戸時代を眺めてみよう</p> <p>2 身分制の下での暮らし</p> <p>3 安定する社会と諸産業の発達</p> <p>4 各地を結ぶ陸の道・海の道</p> <p>5 上方で栄えた町人の元禄文化</p> <p>6 節の学習を振り返ろう</p>	6	<p>○身分制のもとで、人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと、農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づかせる。</p> <p>○農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・海上交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。</p> <p>○藩校や寺子屋などの普及に着目して、人々の教育への関心の高まりに気づかせるとともに、学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して、文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。</p> <p>○近世の文化について、大阪・京都・江戸などの都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。</p>	<p>○江戸時代のある街道沿いの農村のようすをえがいた想像図を見て、安土桃山時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」)を設定する。</p> <p>○江戸時代の人々は、身分制社会の下でどのような暮らしをしていたのか、文章や資料などから読み取ってまとめる。</p> <p>○江戸時代の国内産業は、どのように発達していったのか、絵画資料や地図などから読み取ってまとめる。</p> <p>○交通網の整備は、都市や産業の発達にどのような影響を与えたのか、三都を中心とした都市の成長などをふまえながら考える。</p> <p>○江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>○産業の発達と都市の繁栄を与えた影響を確認させる。</p>	<p>①身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもち、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活や変化し、安定した社会が構築されたことを考察したり、産業の発達と文化の担い手の変化に着目して、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
1	<p>第4章 武家政権の展開と世界の動き</p> <p>第5節 社会の変化と幕府の対策</p> <p>1 貨幣経済の広まり</p> <p>2 繰り返される要求と改革</p> <p>3 江戸の庶民が担った化政文化</p> <p>4 赤穂事件を考察する</p> <p>5 節の学習を振り返ろう</p>	5	<p>○貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえて、近世社会の基礎が動揺していったことに気づかせる。</p> <p>○外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。</p> <p>○財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気づかせる。</p> <p>○蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気づかせる。</p>	<p>○徳川吉宗はどのような改革を行ったのか、また、貨幣を使う機会が増え、農村ではどのような変化があったのか、文章やグラフなどの資料から読み取ったり、考えたりする。</p> <p>○百姓の要求と財政難に対して、幕府はどのような対応を行ったのか、田沼意次と松平定信の政策のちがいに着目させて、表にまとめる。</p> <p>○江戸時代後半には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>○幕府の改革はどのような内容だったか、確認させる。</p> <p>○全国を統一するために織田・豊臣・江戸幕府が行った政策で共通する点に着目し、安定した政権が成立するために必要なことを考えて発表し、意見交換を行う。</p> <p>○近世とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。</p>	<p>①社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>第5章 近代国家の歩みと国際社会</p> <p>第1節 欧米諸国における「近代化」</p> <p>1 市民革命の始まり</p>	6	<p>○政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどに関連づけて、アメリカの独立やフランス革命を取り上げ、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民</p>	<p>○イギリスでの革命や、アメリカの独立戦争によって成立した政治体制とはどのようなものか、資料などから読み取り、表にまとめる。</p> <p>○フランス革命によって、社会はどのように変化したのか、啓蒙思想を示す資料や『人権宣言』などから読み取る。</p>	<p>①欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>

	<p>2 人権思想からフランス革命へ</p> <p>3 産業革命と資本主義の成立</p> <p>4 欧米諸国の近代国家建設</p> <p>5 世界進出を目指す欧米諸国</p> <p>6 節の問いを振り返ろう</p>		<p>主政治への動きが生まれたことに気づかせる。</p> <p>○工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命を取りあげ、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。</p> <p>○産業革命の進展にともなって、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。</p>	<p>○産業革命によって、社会はどのように変化し、またどのような考え方が生まれたのか、絵画資料などをもとに読み取る。</p> <p>○産業革命やフランス革命の影響を受けて、アメリカやドイツ、ロシアではどのような国づくりが行われたか、地図や絵画資料などをもとに読み取る。</p> <p>○欧米諸国は、どのようにして世界へ進出していったのか、イギリスとインドなどの関係を事例として、地図や資料から読み取ったり考えたりする。</p> <p>○市民革命と産業革命による社会の変化、市場や植民地を求めての世界進出に着目して考えさせる。</p>	<p>②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2	<p>第5章 近代国家の歩みと国際社会</p> <p>第2節 開国と幕府の終わり</p> <p>1 日本を取り巻く世界情勢の変化</p> <p>2 諸藩の改革と幕府の衰退</p> <p>3 黒船来航の衝撃と開国</p> <p>4 江戸幕府の滅亡</p> <p>5 節の問いを振り返ろう</p>	5	<p>○欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。</p>	<p>○世界情勢の変化は、江戸時代の日本にどのような影響を与えたのか、外国船の来航と幕府の対応、アヘン戦争とその影響などを法令や地図などの資料をもとに考える。</p> <p>○飢きんや財政の悪化に対して、諸藩や幕府は、どのような改革を行ったのか、資料などから読み取り、表などにまとめる。</p> <p>○ペリーらの来航により、日本ではどのような変化が起こったのか、資料などから読み取り、経緯を流れ図にまとめる。</p> <p>○武士による政治は、どのように終わりを迎えたのか、戊辰戦争にいたるまでの経緯を資料などから読み取り、流れ図や年表にまとめる。</p> <p>○工場制手工業、諸藩の改革、アヘン戦争前後から開国にいたるまでの動きと幕府の権威の低下に着目して考えさせる。</p>	<p>①欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 社会科 3年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：中学社会 公民 ともに生きる（教育出版） 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き（帝国書院） 年間授業時数：140時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準
4	第6章 二度の世界大戦と日本	20	<p>① 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。</p> <p>② 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。</p> <p>③ 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。近代後半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現させる。</p>	<p>○第一次世界大戦の勃発により、日本は日英同盟を利用してどのような行動がとれるのか、また、日英同盟を結んでいたイギリスが、日本のどのような行動を警戒していたのかを予想させる。</p> <p>○民族運動の高まりや国際平和への努力に気づかせるとともに、どのような限界があったかについても考えさせる。</p> <p>○資料をもとに、国際連盟の常任理事国になった日本が、国際的な場で初めて人種差別撤廃を提案したことに気づかせる。</p> <p>○年表中に示されているワシントン会議やロンドン海軍軍縮会議の結果を見て、国際協調が進められる一方で、海軍力においてイギリスやアメリカが優位な秩序が決められたことに気づかせる。</p> <p>○単元のまとめを行わせる。</p>	<p>①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。</p> <p>②経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</p> <p>③戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>④近代後半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>⑤近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。”</p>
6	第7章 現在に続く日本と世界	20	<p>① 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</p> <p>② 高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。</p> <p>③ 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>○日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。</p> <p>○日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。</p> <p>○沖縄返還、日中国交正常化などを取りあげ、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。</p> <p>○単元のまとめを行わせる。</p>	<p>①冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>②高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</p> <p>③諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>④現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
9	第1章 私たちの暮らしと現代社会	10	<p>① 日本国憲法の平和主義に関する理解を深め、我が国の国際貢献のあり方について考えとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。</p>	<p>SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、先進国も発展途上国も取り組むべきことについて調べまとめ、経済的発展だけでなく、人間的発展に向けた開発を旨とすることが重要であることを理解させる。</p>	<p>②社会的な思考・判断・表現 社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p>

			② 持続可能な社会を形成するという観点から、わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求し、自分の考えをまとめることができる。	持続可能性を妨げる主な課題について、グローバルとローカルの両面から調べまとめ、SDGsとのつながりや関係を理解させる。(ICT)	私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10	第2章 個人を尊重する 日本国憲法	20	① 憲法を学ぶにあたり、その根底にある個人の尊重という考え方の大切さに気づく。 ② 憲法とは何か、なぜ憲法を学ぶ必要があるのかについて興味・関心をもつ。	日本国憲法で新たに保障されるようになった権利について、大日本帝国憲法と比較しながら調べまとめさせる。 国民主権、象徴天皇制、憲法改正の手続きの具体的な内容について、掲載された各資料を基に調べまとめ、理解させる。	①知識・技能 日本国憲法が、個人の尊重という価値観を基礎に成り立っていることを理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 個人を尊重するという考えについて、日常の具体的なできごとと関連付けて考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 個人の尊重と法の支配の重要性に着目し、自分の生活と関連付けて憲法を学ぶ意味を自らに問い、理解しようとしている。
11	第3章 私たちの暮らしと 民主政治	20	① 議会の傍聴を通して、身近な暮らしと政治との関わりについて考える。 ② 民主主義という考え方の持つ意義や特徴を理解し、身近な暮らしの中で果たしている役割に気づく。	独裁政治との対比を通して、民主主義の意義を理解し、議会制民主主義(代議制)のしくみや多数決の原理について調べまとめさせる。 投票率の低下や一票の価値の格差など、日本における選挙の課題について調べまとめ、選挙権の拡大やインターネット選挙運動の広がりについて理解している。(ICT)	①知識・技能 身近な地域の課題を解決する役割を担う人々について調べを通して、民主主義の考え方について理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 議会の傍聴や視聴などを通して、身近な暮らしと民主主義を関連付けて考察している。 ③主体的に学習に取り組む態度 議会の傍聴や視聴をきっかけに、自分の生活と関連付けて、民主主義の考え方や民主政治の意味について問い、考察しようとしている。
12	第4章 私たちの暮らしと 経済	20	① 経済社会における「分業」の持つ意味について、具体例をもとに考える。 ② ものを交換することの意義や、その際に貨幣果たす役割に気づき、身近な暮らしと経済活動とのつながりへの関心を高める。	株式会社のしくみと特徴について、株式会社と株主の関係を踏まえながら理解し、企業の社会的責任について、具体的事例を基に調べまとめている。(ICT) 働くことの目的や、労働条件の内容について資料から調べ、働く人たちの権利がどのような法律や制度によって守られているかを理解している。	①知識・技能 分業をすることが生産性の向上をもたらすこと、貨幣を通じて生産物を交換していることを理解し、経済活動は一人一人が関わり合って成立していることに気づく。 ②社会的な思考・判断・表現 生産物の交換に貨幣が使われることの意義や効率性について、物々交換との比較で考察し、説明している。 ③主体的に学習に取り組む態度 身近な生活の中で経済活動がどのような意味をもつのかについて、「分業と交換」という視点から、主体的に学習していく見通しをもっている。
12	第5章 安心して豊かに暮 らせる社会	10	① 生まれてからこれまでの私たちの15年間の暮らしは、どのように営まれてきたのかを理解する。	日本の総人口と年齢層の推移などの資料から日本の社会保障制度の課題を具体的にまとめ、介護保険や年金保険などの給付と負担の関係について理解させる。	①知識・技能 「出産・育児」「保育・教育」「医療」の視点から、中学校3年生にいたるまでに平均的に使われている費用を理解し、まとめている。

			② 公害の防止など環境の保全についての問題, グローバル化する国際社会における日本, 地域経済の活性化など, 今後の日本経済が直面する課題をとらえる。	出典を正しく示したグラフやデータで, 比較や推移を適切に表現しながら, 自分が設定した社会保障に関するテーマでレポートをまとめ, その内容を理解している。(ICT)	②社会的な思考・判断・表現 これまでの 15 年間で自分が受けてきた公的な支援を踏まえながら, これからの人生においてどのような支援を受けるかを考察し, 自分の言葉で表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 私たちが安心して豊かに暮らしていくために必要なことはどのようなことか, 「希少性」(資源の分配のあり方) の観点をもって, 主体的に学習していく見通しをもっている。
1	第 6 章 国際社会に生きる私たち	1 5	① 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには, 各国が相互の主権を尊重し, 各国民が協力し合うことが大切であることを理解する。 ③ 国際協調のために, 国際連合をはじめとする国際機構などが果たす役割や取り組みが大切であることをふまえ, 国際社会における我が国の役割について考える。 ③ アジアを中心とした日本の国際貢献について, 技術協力や経済援助の視点からとらえ, 今後も他国から期待される活動のあり方を考える。 ④ NGO による国際支援活動の具体例を通して, 民間でもできる国際支援の方法や特徴について考える。	国際連合誕生の経緯や目的, しくみ, はたらき等について調べまとめ, 国際社会における国際連合の役割を理解している。 EU, ASEAN, APEC, TPP などの目的やしくみ, 概要等について調べまとめ, 地域統合(地域主義)や国際社会における結びつきの意義を理解している。 様々な資料を基に, 日本が世界の一員として国際貢献を進めてきた経緯や事業内容について調べまとめ, 国際貢献の意義や国際支援のあり方について理解している。	①知識・技能 国際社会において, 領土(領海, 領空を含む。), 国家主権, 国際連合の働きなどの基本的な事項を中心に, 国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力, 各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 対立と合意, 効率と公正, 協調, 持続可能性などに着目して, 日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 国際社会の平和と秩序を維持していくために, 国際機構が果たす役割の大切さや, よりよい社会を築いていくために, 国や企業, 民間団体や個人でもできる国際支援の在り方などについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	終章 私たちが未来の社会を築く	5	① 日本国憲法の平和主義に関する理解を深め, 我が国の国際貢献のあり方について考えるとともに, 世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。 ② 持続可能な社会を形成するという観点から, わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求し, 自分の考えをまとめることができる。	SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向け, 先進国も発展途上国も取り組むべきことについて調べまとめ, 経済的発展だけでなく, 人間的発展に向けた開発を旨とすることが重要であることを理解している。 持続可能性を妨げる主な課題について, グローバルとローカルの両面から調べまとめ, SDGs とのつながりや関係を理解している。	②社会的な思考・判断・表現 社会的な見方・考え方を働かせ, 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

※ 授業では ICT を用いた資料掲示, スライドによる説明を行う。